

## B(2)① 国際共同研究拠点の強化(国際ジョイントラボの増設)

本学の国際共同研究を促進する主たる事業として、最先端の研究を展開している外国人研究者とそのグループを本学に招へいし、本学の研究者と共同研究を実施する「国際共同研究促進プログラム」を実施する。

※本プログラムの採択により設置する常設の国際共同研究室のことを「国際ジョイントラボ」と称する

### 本事業のポイント

- 国際共同研究を長期的に支援することで、世界レベルでの研究力向上に貢献する。
- 招へい研究者が離日していても共同研究を続行できるよう、招へい研究者の研究室に所属する若手研究者が来学するための経費等も措置。
- 国際共同研究に関するノウハウを蓄積する(国際的に活躍しうる若手研究者の育成手法、国際的な組織間連携のあり方など)。
- 自主財源を用いた国際ジョイントラボへの発展(グローバル・ナレッジパートナー校枠と世界トップレベル研究拠点枠)

本学における研究力の強化及び国際化の促進に資するため、最先端の研究を展開している外国人研究者と本学の研究者との共同研究を支援する。具体的には、招へい研究者本人の渡航費・滞在費、相手先研究室への教員・研究員・学生の派遣旅費、ポスドクの雇用経費などの支援を行っている。



国際ジョイントラボに設置するサインプレート

### 取り組み実績と得られた成果

- 国際ジョイントラボ設置数 : 76拠点  
※うち、研究大学強化促進事業では46件を支援

#### 平成26年度～平成30年度

国際共著論文数	505件
国内外で開催した国際シンポジウム件数	172件
海外への派遣者数(のべ)	852名
海外からの受け入れ研究者数(のべ)	829名

※本プログラムの中で実施される海外への研究者派遣や海外からの研究者受け入れの結果、本学のクロス・アポイントメント制度の適用につながるケースもある。

### 今後の課題

- 各国際ジョイントラボで蓄積した様々な経験や得られたノウハウを全学で共有し、組織運営を改善していく仕組みの構築。
- 現在進行中の国際ジョイントラボの進捗状況のモニタリングや、その状況・ニーズに応じた支援の実施。